

組合だより

第289号

2026.1 発行

静岡県焼津市

焼津漁業協同組合
総務部 指導課
628-7115



www.yaizu-gyokyo.or.jp

年頭の御挨拶

焼津漁業協同組合

代表理事組合長

橋ヶ谷 長生

明けましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

勢が一段と不安定化している中であって、女性初の首相に選出された高市早苗内閣総理大臣の下、新たに日本維新の会との連立政権が発足するなど政局が大きく動きました。また、円安が進行して、物価高が続き、市民



生活への影響が懸念される
ところであります。

一方、漁業情勢に目を向けてみますと、地球温暖化の影響などによる海洋環境の変化により、全国的に主要魚種の漁獲が不安定化し、多くの魚種と同様に前年より減少傾向が指摘されています。また、国際的な資源管理強化により漁獲枠の制限が続いている中、持続可能な漁獲管理と漁業再生策の重要性が一段高まった年となりました。

このような中で、当組合では、令和3年に発覚した冷凍カツオ窃盗事件における解決に向けた取り組みとして、これまで策定した再発防止策の徹底を図るとともに、本年も外部監査人を設置し、指摘事項の改善状況等について監査し報告書として取りまとめるよう依頼しました。一方、当該事件については、いわゆる第3ルート事件の刑事裁判が一部開廷したことから、引き続き裁判の動向を注視して参りたいと思います。当組合としては、再発防止と信頼回復に向けて、役員が一丸となって取り組んで参りますので、組合員の皆様並びに関係の皆様方におかれましては、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

小川漁業協同組合との合

併につきましては、令和5年12月より静岡県漁業協同組合連合会の指導の下、両漁協の実務者による作業部会を設置し、合併検討項目について協議を重ねてきました。その結果、作業部会における検討事項が概ね取りまとまったことから、関係団体(当組合、小川漁業協同組合、静岡県、焼津市、静岡県漁業協同組合連合会及び東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店)より委員を選出し、令和7年10月27日に「焼津地区漁協合併協議会」を設置しました。同協議会は、令和7年10月27日、同年11月28日及び令和8年1月8日の計3回開催し、合併に関する各検討事項の確認及び審議を行いました。委員からは、合併全体を俯瞰した立場からの意見や助言をいただき、今後の合併手続に向けた課題の整理を行いました。引き続き、これらの協議結果を踏まえ、令和8年4月1日の合併に向けた準備を進めて参ります。

は前年対比千940トン減少の11万2566トン、水揚金額は29億9千654万円増加の420億9千425万円となりました。本年度も、遠洋漁業を取り巻く漁業情勢は依然として厳しいものの、海洋環境の変化に伴う水産資源の悪化や流通形態の変化などへの対応と、組合員の皆様をはじめ全ての水揚げ船舶主の皆様や関係団体等と連携を図り、効率的かつ効果的な水揚促進対策に全力で取り組んで参るとともに、懇切丁寧な対応を心掛けて信頼関係の醸成と水揚集荷に努めていく所存であります。本年も引き続き、外港売場や新屋売場の業務の効率化と取引の透明性向上等を図るため、デジタル基本構想に基づくシステムの構築を進めて参ります。

次に冷蔵事業ですが、本年度の保管業務は、超低温冷蔵庫の入庫数量が前年に比べ減少したものの、外港冷蔵庫は前年に比べ増加したため、両施設を合わせ前年対比819トン増加の1万2千916トンとなりました。全体の保管料は平均在庫量が減少したものの入庫量が多かったため前年に比べ3千308万円増加し4億338万円となりました。販売業務は、塩の取扱量が海外旋網船の取扱量が減少したこと等により、取扱高は3千767万円減少の3億6千364万円となりました。冷蔵事業全体の総取扱高は前年対比783万円減少の7億9千596万円となりました。

本年度も、原油高に伴う電気料金の高止まりが続いていることから、経費の削減等により一層取り組むとともに環境にやさしい再生可能エネルギー(太陽光発電)の導入を進めて参ります。一方、近隣の営業冷蔵庫の庫腹占有率は高い水準にあり、当組合の超低温冷蔵庫及び外港冷蔵庫についても庫腹占有率の高い状態が続くものと思われ、効率的な寄託物の入庫に努め、組合員の皆様をはじめ利用者の寄託物の品質保持に万全を期すとともに、魚市場と連携してより安定的な集荷が得られるよう立地の優位性を活かした効果的な営業活動を展開し、より広くご利用いただけるよう取り組んで参ります。

また、葬祭事業は、引き続き会員獲得活動の推進等を行い、セレモニーホール「おさい」のPR活動に努めた結果、葬儀受注件数は前年対比8件増加の212件の受注をいたしました。また、売上高につきましては、受注件数の増加及び販売商品の拡充による売上増加等により、前年対比2千216万円増加の3億538万円となりました。

本年度も新規会員獲得に重点的に取り組んでいくとともに、ご利用いただく組合員をはじめ市民の皆様方には地元企業ならではの安心感のある葬祭サービスを提供して参ります。一方、コロナ禍を経て、葬儀の形式が多様化していることへ柔軟に対応し、より多くの方々から「焼津漁協におさい」をご利用いただけるよう努力して参ります。

以上のような結果、当組合の事業運営は、水産資源状況の悪化や不祥事件の影響等が懸念される中、各部門とも大変厳しい事業環境ではありましたが、職員が目標準達成に全力を尽くしたことや、可能な限りの管理費の削減を図り収支改善に努めたことなどにより、当期利益を計上することができました。



合併契約書調印式

令和8年1月22日、当組合と小川漁業協同組合は、焼津市役所に於いて、合併契約書の調印式を執り行いました。調印者には橋ヶ谷組合長と立会人として中野焼津市長及び高田静岡県漁連会長の3者が調印され、今後、両漁協の総会で決議された後、県の認可を経て4月1日から新漁協(新漁協名は焼津漁業協同組合、愛称を「JFやいづ」として)開始する予定です。

この合併は焼津、小川両漁協が水揚げの減少や資材高騰など経営が厳しくなる中、多様な魚が水揚げされる国内最大級の漁協として、遠洋から沿岸まで幅広い漁船が水揚げできる体制を築き、持続可能な開かれた漁協を目指します。



焼津漁業協同組合 小川漁業協同組合
合併契約書調印式

人形供養祭

令和7年11月7日、当組合セレモニーホールにおさいに於いて、焼津市仏教会のご協力の下、人形供養祭を挙行いたしました。

この供養祭は、皆様のたくさんの方々の想いが詰まった思い出の人形品々を感謝の気持ちを含めてご供養し、きちんと手放すための儀式です。

当日は当組合役員、関係者をはじめ、一般参列者を含め70人余りの方々にご参列いただきました。

セレモニーホールにおさいは、今後も変わらず地域に根付いた葬祭会館を目指して参りますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

なお、この供養祭の申込時にお預かりした供養料につきましては、令和7年11月21日に焼津市社会福祉評議会へ全額寄付させていただきます。



永年勤続職員表彰式

当組合は、令和7年度の永年勤続職員表彰式を昨年11月20日(木)に組合会議室において行いました。

今回の被表彰者は10年表彰2名の方々と、それぞれに表彰状と記念品が授与されました。栄えある表彰を受けられました皆様方のご努力に対し深く敬意を表すると共に、ますますのご活躍をお祈りいたします。

勤続10年

総務部指導課指導係長 下田 歩

葬祭部営業課営業係 松浦 峻太郎



令和7年度 船舶職員養成講習会

当組合は、船舶の航行に必要な船舶職員(海技士・航海、内燃機関)を養成するために、例年「船舶職員養成講習会」を主催しており、本年も3月3日から行われる「海技士国家試験(焼津臨時)」に向けて、静岡県立漁業高等学園において開催しております。

本年度は、海技士(航海)の4級が3名と海技士(内燃機関)3級が9名、4級が2名の合計14名が受講されており、3級海技士の講習は昨年11月17日から、4級海技士の講習は本年1月5日から始まっており、2月27日までの間、講習生は試験合格に向けて受講しております。

受講生の皆様方の日頃のご努力に深く敬意を表しますとともに、この試験を無事に突破され、将来の漁船の幹部職員として漁業界を牽引し、漁業界の発展のためにご活躍をいただきたいと思っております。



浜施食会法要

令和7年7月25日、当組合セレモニーホールにおさいに於いて、焼津市仏教会のご協力の下、浜施食会法要(はませじきえほうよう)を執り行いました。

古くは浜施餓鬼(はませがき)と呼ばれ、発端は不明ですが少なくとも明治25年には既に行われていたと云われる行事です。

当日は、役員・漁方・物故者家族が集って所属各船遭難物故者の霊を慰めました。

成人の日

本年、二十歳を迎えられた次の組合職員に対して、めでたき門出をお祝ひ申し上げます。

皆様には、これまでに多くの方々に支えられ育てられてきたことへの感謝の気持ちと共に、次の時代を担う大人として新たな歩みを始める誇りを持ち、未来を切り開くために、さらに自らを高めていく努力を期待しております。

今後とも健康に留意され、ますますご活躍されますよう祈念いたします。

市場部業務第四課渉外係 松下 龍之介

市場部業務第三課外港売場係 中原 龍士

マダイ稚魚放流

令和7年7月24日、焼津魚市場解凍売場前において、焼津市、水産技術研究所の協力のもと、地域社会への



貢献活動として近隣の石津保育園の園児を招き、マダイ1千200匹を放流いたしました。

当日は、ライフジャケット姿の園児17人が稚魚の入ったバケツを持ち、すべり台の形をした放流用の台に流してマダイを見送りしました。放流に先立ち、県水産・海洋研究所の職員がマダイの生育について説明しました。

放流を通じて、地域社会への貢献活動を続けていくとともに、子供たちに海や魚の魅力伝えていきたいと考えております。

焼津魚市場取扱高対比表

(令和7年1月~12月)

令和8年(2026年) 焼津魚市場定休表

日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

魚種	令和6年			令和7年			前年対比(%)		
	数量(t)	金額(千円)	単価	数量(t)	金額(千円)	単価	数量	金額	単価
南まぐろ(水揚)	2,428	3,343,603	1,377	3,746	6,217,242	1,660	154	186	121
南まぐろ(陸送)	707	1,217,484	1,721	759	1,311,356	1,727	107	108	100
めばち	5,946	3,910,799	658	5,202	3,835,087	737	87	98	112
きはだ	3,171	2,108,467	665	2,772	2,061,938	744	87	98	112
きはだ(海まき)	10,047	3,287,249	327	8,541	2,823,708	331	85	86	101
他のまぐろ類	1,276	1,716,313	1,345	1,306	1,697,752	1,300	102	99	97
びんなが	2,642	1,157,752	438	8,154	2,720,531	334	309	235	76
かつお(南方)	10,987	3,842,122	350	27,585	9,361,395	339	251	244	97
かつお(その他)	17,147	3,993,936	233	170	56,133	330	1	1	142
かつお(海まき)	64,089	14,224,914	222	51,423	11,691,168	227	80	82	102
その他	755	295,071	391	599	317,943	530	79	108	136
(合計)	119,197	39,097,711	328	110,257	42,094,253	382	92	108	116

*記載数量・金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。